

天草五橋開通50周年・雲仙天草国立公園指定60周年記念

天草 地域活性化座談会



天草観光の未来を語り合った参加者

- 出席者(順不同)**
- 天草宝島観光協会 会長 永田章一氏
 - 天草四郎観光協会 会長 千原光明氏
 - 苓北町観光協会 会長 森昭久氏
 - 株式会社全旅 前取締役会長 池田孝昭氏
 - 司会 観光経済新聞社 東北支局長 平塚眞喜雄氏

熊本天草地域にとって2016年は天草諸島と九州本土をつなぐ天草五橋開通50周年や、雲仙天草国立公園指定60周年にあたる。天草五橋で観光客と地域住民が手をつなぎ、天草を目標とする9月の「天草五橋H.A.N.D. IN H.A.N.D.」などのイベントも数多く予定されている。そういった追い風の吹く一方、熊本地震による風評被害の拡大も懸念され、今こそ地域一体となって天草観光の魅力を訴求していかねばならない。そこで、天草宝島観光協会の永田章一会長、天草四郎観光協会の千原光明会長、苓北町観光協会の森昭久会長と株式会社全旅の池田孝昭前取締役会長の4人に、天草観光の魅力と今後の観光振興の取組みについて語り合った。司会は観光経済新聞社の平塚眞喜雄・東北支局長。(天草市・ホテルアグリアガーデンズ天草で)



永田氏

——(司会)平塚眞喜雄・東北支局長 今年4月14日と16日に発生した熊本地震によって、熊本県は多大な被害を受けた。これに対して、全国から温かい支援の数々を受けている。まずこのことについて、皆さんにお聞きしたい。

永田 熊本県民として、全国の皆さんから物心ともにさまざまな支援をいただいている。熊本県は、この天草は地震の被害はほとんどない。ただ、キャンセルが相次ぎ風評被害が非常に大きい。千原 天草は幸いにも被害がなかったのだが、これだけ風評被害があるとは予想していなかった。ご支援をいただいた皆さんに、また、被災された皆さんに何とか

天草の「元氣」を届けたい。それを復興に役立てたい。

森 私たち苓北町では何か被災地にお手伝いすることはないかといろいろ考えているところだ。全国の皆さんからご支援をいただいていることについて、大変ありがたいと思っている。

池田 今回の震災に対して国や県などのいろいろな皆さんがスピーディーな対応をとっていただけたことに感謝したい。特に全国旅行業協会(A.N.T.A)ではさっそく熊本で役員会、理事会、全国の支部長会も開催することを決定していた。NTA会員500社がいろいろな物心両面から支えていただ

地域特有のイルカウォッチング どこにも負けない自然景観の美

永田氏▲ 千原氏▼



千原氏

ことに心から感謝申し上げたい。

——天草や天草四郎について各称はみんな知っているが、全国的には天草がない地域があまり情報が出ていない。皆さんから天草の魅力をお聞きしたい。

永田 よそにない地域の特有のものはイルカウォッチングだ。今、ミナミハンドワイルドカが00頭くらい生息していて、99%の確率でほとんど見ることができ。ほかにも教会などいろいろ見所はあるが、やはりイルカウォッチングが外国人観光客も含め、一番喜んでもらっている。あと3年前から始めた「世界シンタクロス会議」これは40年前に秀吉から禁教令が出された時から「霜月祭」という名前がリネアスです。祝いの続けられた歴史があり、最もサンタクロスの聖地だ。一番の方からお参りも多かった。サンタクロスの島として冬のクリスマスダンスだけでなく通年型で売り出さず、今商品開発などいろいろな取り組みをやっている。

千原 上天草でもイルカウォッチングはすばらしい宝物だ。年間たくさん人が訪れて、大きな目玉となっている。そして、自然景観の美しさはどこにも負けない。先日、天草大橋が開通した50年前の写真と今の写真を比べてみたが、建物は新しくなっているものの自然景観の美しさは何も損なわれていない。これからは受け継いでいくことが非常に大事だ。食材の豊かさも魅力だ。今は養殖ものもたくさんあり、魚種は昔よりも豊富だ。季節を問わずいろいろな魚が旬に味わえる。天草は海に囲まれた島なので、海を中心として地域振興をしていきたい。

森 食で言えば魚だ。天草の魚はどこにも負けない。天然の魚は身が引き締まっていてとてもおいしい。苓北町では、岩ガキを一生懸命売っている。東北あたりはカキと違って夏に食べるカキで、身が大きく、濃厚なクリームな味が特徴だ。

また、天領やキリスト教に関する歴史、文化も売りに出している。天草四郎に攻められた福岡城もあり、今、史跡に基づいて復元している。観光資源はいっぱい

濃厚でクリーミーな味の岩ガキ 人の温かみある地域住民が魅力

森氏▲ 池田氏▼

あるので、何を売り出そうかと考えている。夕焼けもきれいで今、「夕やけマロン」というものも売っている。

池田 天草の魅力を一口に言えど、この地域に住んでいる住民の皆さんは、本当に魅力ある人々ばかりで、皆さんいろいろな話を聞くと心から人の温かみや優しさに触れ合えることができる。

——そのような観光資源をどう売り出すか。観光振興の取り組みの現状を教えてください。

千原 今年は天草五橋開通50周年の雲仙天草国立公園指定60周年なので、「VISITあまくさプロジェクト」ということで上天草では2月から1年を通していろいろなイベントをやっていく。最近

はトレッキングの聖地を目指して、今、女性を中心にトレッキングフェスティバルを2月の1カ月間実施している。開通当初から「天草五橋祭」を開催しているが、50周年を迎える今年、ちょうど開通日の9月24日に開催する。それと相まって翌日の25日に「天草五橋H.A.N.D. IN H.A.N.D.」のイベントをやる。「四郎の財宝を探せ」や「海の音楽祭」「天草海あかり」といったイベントも含めて、いつもとは違った50周年を飾るようなイベントで誘客をしたい。

森 苓北町から熊本市内に行くのに3時間かかる。長崎市内へは、高速船とバスを乗り継ぎ1時間ほどで中心地に着く。長崎からのお客さまを呼び込む方法を検討している。苓北町に来てもらえれば観光する材料はいっぱいある。それをいかに売り出すかが課題だ。そこで、今年度は「地方創生加速化交付金」を活用して、専門家のマネジメントによる魅力ある観光地づくりに取り組むことにしている。

観光ボランティアガイドの育成にも力を入れている。現在、ボランティアガイドは20人くらいだが、若い世代のボランティアガイドを養成していかなければいけない。

永田 崎津集落では地元河浦高校の生徒たちがボランティアガイドをしていて、今年はその子たちをおもてなしのお手本として表彰をした。崎津集落は、世界遺産の候補だったが、2年先に伸びそう

「ビジュアル的には地域住民が大漁旗を持って応援するというプロモーションも面白い。

千原 H.A.N.D. IN H.A.N.D.を達成する瞬間に漁船が橋の下を通る。それはいいアイデアだ。



やさしく迎えるイルカがいます。

清らかに、やさしくなる場所があります。

やさしい味が、笑顔にさせます。

やさしさの踊りが楽しくさせます。

作り手のやさしさが、形になっています。

やさしさの宝物があります 天草

<http://www.t-island.jp/>

一般社団法人
天草宝島観光協会 〒863-0023
天草市観光振興課 熊本県天草市中央新町15-7
天草宝島国際交流会館ホリト内
1F / 天草宝島観光協会
tel:0969-22-2243 fax:0969-22-2390
2F / 天草市観光振興課 tel:0969-23-1111

天草から熊本の「元気」を全国に

天草五橋開通50周年・雲仙天草国立公園指定60周年記念

天草地域活性化座談会



池田氏

夢がなければ決断はできない。問題解決に向けた今後の取り組みや観光地として目指すビジョンをお聞きしたい。

永田 きっかけとしては、天草島観光協会のサイトは年間100万件的アクセスがある。観光協会で100万件というかなり



平塚氏

人島のキャンプなどを今後組み立ててきた。それも今までのようなキャンプの在り方ではなく、少人数のグループ、島にシェフを送り込んで天草の豊かな食材を使って楽しむという方向性で、高めていくという作業、仕掛けが大事だ。その前に上天草市、天草市、若北町が独自に調査を行って観光関連の数字を「見える化」した方がよいのではないか。どんな人が何人来ているのか、何のために来るのか、どこから来るのか、どのような行動をして、何度訪問したのか、そういったことをデータ化する必要がある。正確な数字を把握することによって、そのお客さま層に合わせていろいろなアプローチをかけていくのは、もっと天草が提供できるのではないかと。森 これからの若北町の取り組みは交流人口の増加だ。観光を通

地域事業は地域の連携が大。一同団結して取り組むこともっとも大きい力になる。

永田 全体的に統一感を持ってやっていると、いくつもの地域に分けて、ある一つのものをその地域ごとに取り組ませるという手法も考えている。お互いに競い合い、目標は一緒で手法はそれぞれという仕組みを作ろうと思っている。

千原 自治体が連発は観光に対する考え方も違う。天草に対する共通ビジョンをどこかで構築しなければおそろく意識は変わっていかない。お互いの予算を勝ち奪いながら、また県の補助を生かしながら、例えば、一番取り組みやすい食事などをテーマに作り上げていくことが大事だ。とにかく一度やってみることが大事だ。

森 ジオパークやオルレなど地域連携で取り組むことで魅力が増す。併せて、「天草へくる」という周遊バスなどを交通対策についても連携していかねばならない。

池田 天草は一つと一つとで企画内容も共同情報発信しても構わないと、こちらからは構わない。こちらは違うと違うとたまたまれわれ旅行会社も送客しにくい。これは広域の問題になるが、金山、銀山の佐渡島と宝島の天草との島間交流をしようという話がある。離島という同じ境遇の皆さんが情報の共有化をしながら協力し合うモデルを早く作っていかねばならない。この2カ所の島間交流がうまくいけば、よその地域も今2、3カ所が参画すると手を上げている。そちらが最終的にはオルレ発祥の地の韓国・済州島まで巻き込んだ島国の交流ということまで考えて、大変楽しい交流になる。

永田氏 サイト活用で取り組み拡大

千原氏 市民の観光意識の醸成を

森氏 観光通じて交流人口増加

池田氏 島民すべてが観光大使に



森氏

交流人口を増やすことを一生懸命やっている。交流人口をいかに増やすかというところで長崎の間に、民間による「長崎・若北交流倶楽部」という組織ができています。年配の人がソフトボールで行き来したり子どもたちがサッカーで行き来したり、いろいろなことをやっているが、その観光を通じて交流人口を増やそうとしている。若北発祥の定期修理に伴う宿泊需要があるが、それだけに頼るわけにはいかない。だから、もっと観光を主とした交流人口を増やそうと、富岡の復興を進めている。

池田 交流人口拡大や観光振興の施策をするうえで、天草の島民の皆さんが観光大使になるというところ。そういう話をしたら、ある老人がこの歳になるとはなれないと言ったので、「では、知らない人が通った時に横を向いて知らぬが通った時、聞いて、「いや、あいさつくらいはできる」と、それが立派な観光大使の役割をどうとらえているか。

永田 自分たちが元気に営業をしようというところ。まず知ってもらうことが一番だから、まず広報活動を徹底してやっていくことだ。今度、天草市も独自に旅行券を全国のコンビニで発売する。内容を天草市内で使える5千円分の宿泊券が半額の2500円で買えるというものを、とにかくチラシを作って、コンビニに置いてもらうだけでも非常に効果がある。

千原 実際、地震発生で上天草も意識が緩くなか新規の予約がほとんどない状態が続いている。意識込みを聞かせてほしい。

永田 五橋が開通50周年、国立公園が60周年という節目の年を迎え、これからの50年、100年という長い島を残していくのかが、今ある私たちの観光資源に磨きをかけて、また、地域に埋もれている宝を探して、それを未来の子供たちにしっかりと残していくために頑張りたい。

千原 天草には素晴らしい美しさがある。これからの50年、今以上に美しい天草を残していきたい。そのためには、天草の子供たちを育てていくことが大事だ。また改めて振り返りながら次の50年を見据える一つの良い機会になればいい。美しい天草をずっと残したい。それだけで大きな観光資源になり得る。

森 意識込みは、先ほど話したように交流人口の増加だ。もう一つは、観光資源はたくさんあるのだけれども、その情報をいかに全国に発信して皆さんに来てもらうかが課題だ。観光商品の開発、天草ブランド化を目指していきたい。

池田 今年天草の観光に対する本気度が試されている。思い切った施策をやらないとインパクトが弱い。例えば天草は立派な港がある。天草港特区を申請したらいいと思う。海外のフライベイトクルーズなどで日本に来る人、そこで入国出国の検査まで行う。ほかでは体験できないイルカウォッチングをはじめ、三方が海原に開かれた雄大な自然観や世界遺産候補の崎津集落、キリスト弾圧の歴史・文化、豊富な食材など魅力的な観光資源がそろっている天草。今日の座談会では、完全復興まで熊本県観光の「前進基地」として取り組むとの覚悟が伝わってきた。各方面との連携強化と的確な情報発信により、各種イベントの成功を期待している。

らうのが、おそらく将来の天草の観光の基礎になる。

千原 課題は市民の観光意識の醸成。少し低いのではないかと。観光業界が主となって市民がみんな地元の魅力を見つけて、意識を高めていくという作業、仕掛けが大事だ。その前に上天草市、天草市、若北町が独自に調査を行って観光関連の数字を「見える化」した方がよいのではないか。どんな人が何人来ているのか、何のために来るのか、どこから来るのか、どのような行動をして、何度訪問したのか、そういったことをデータ化する必要がある。正確な数字を把握することによって、そのお客さま層に合わせていろいろなアプローチをかけていくのは、もっと天草が提供できるのではないかと。森 これからの若北町の取り組みは交流人口の増加だ。観光を通

くさんの観光客を受け入れながらの立場で、無理をせず、自分できちんとやる。生懸命に頑張ることが観光大使。それでピタリとなくなると、観光大使が多くなると、だから、ぜひ天草の皆さんが観光大使になってほしい。

永田 函館はいろいろな人をたぐさん観光大使にしている。東京で函館の観光大使の会合をして、池田 熊本地震があったからと

がんばろう熊本! 上天草から元気を 「ほっとする」「うまい」がここに... 上天草で癒しのひと時を

海、温泉、海鮮料理...自然に恵まれた上天草で 疲れた身体と心を癒していただければ幸いです。 大浴場のほか、家族湯をご用意している 施設もご紹介します。気軽にお問い合わせください。

上天草温泉郷 KUMAMOTO KAMIAMAKUSA

第9弾「どっちもよか井」でランチはいかが? 上天草の特選素材を使った井対決。あなたが食べてみたいのはどっち? 飲食店・ホテル全15店舗が参加中

「海井」は車エビ 「山井」は天草大王

上天草温泉郷 天草の絶景と海鮮料理が自慢の温泉宿。ゆっくり旅館・ホテルでリフレッシュしませんか?

天草四郎観光協会のHP内で各施設のご紹介をしています

会員一同、これからも頑張ります HP、詳しくは 天草四郎観光協会 〒869-3603 熊本県上天草市大矢野町中11582-24 TEL.0964(56)5602 天草四郎観光協会 検索

天草五橋開通50周年・雲仙天草国立公園指定60周年記念



天草

観光スポットを紹介

天草は、美しい自然に恵まれ、また、キリスト教聖地など独自の歴史・文化も持つっており、観光資源が豊富だ。今年是天草五橋開通50周年、雲仙天草国立公園指定60周年という記念の年で、オール天草で誘客を図る「VISITあまくさプロジェクト」も進められている。ここでは、イルカウォッチングや崎津教会、天草五橋、富岡城といった代表的な観光スポット、体験、食などを紹介する。

イルカウォッチング

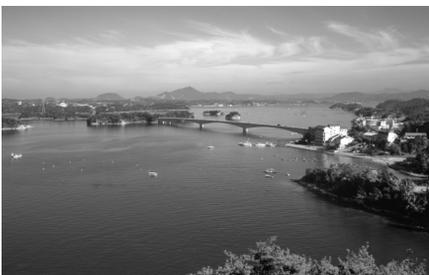
イルカは天草の宝。天草市五和町の通洞島沖の青い海には約200頭のミンミハンドウイルカが生息している。春先から夏にかけては赤ちゃんイルカも見ることが出来る。

富岡城



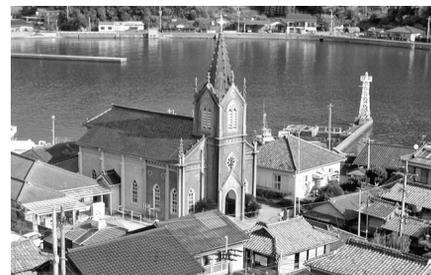
慶長7年(1602年)頃、肥前藩藩の初代藩主、寺沢志摩守広高により築かれた富岡城。現在、その本丸跡には「熊本県富岡ヒジターセンター」が建っている。長屋跡には「若北町歴史資料館」も。

天草五橋の景色



天草五橋は九州本土と天草諸島を結ぶ橋で1966年に完成。三角から大矢野島、永浦島、大池島、前島を経て天草上島までつながる。写真の場所からの夕日は「日本の夕陽百選」にも認定されている。

崎津教会



漁村にたつゴシック様式の教会。昭和9年(1934年)フランス人宣教師オーグスチン・ハルブ神父によって建てられた。世界文化遺産を目指す「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の一つ。

美しい自然に恵まれた島

おっぱい岩



干潮時になると周囲約34号沿いの浜辺に姿を見せる奇形岩。その直径は約1・5m。直に触れると「胸が大きくなる」「母乳がたっくん出る」といった「利益」がある噂される。

上天草温泉郷



上天草市にある、大矢野温泉と松島温泉で構成される。海に囲まれていることから、温泉は塩化物泉がほとんど。保湿効果や乾燥肌の改善が期待できる。写真は「スパ・タン」天草の露天風呂。

グルメ



熊本県の南部に浮かぶ島・天草は新鮮な山海の宝庫だ。10月12日には天草の新鮮な食材を使った名匠オリジナルの丼を提供する「あまくさ丼フェア」も開催される。

天草で
まってるモン!!

熊本県 ©2010 熊本県くまモン 熊本県観光課

ゆるり、海と空と、出逢いがある。
苓北時間

<http://reihoku-kumamoto.jp/>

苓北町役場 商工観光課
〒863-2503 熊本県苓北町志岐 660 番地
TEL : 0969-35-1111 FAX : 0969-35-1197